

都市再生整備計画 事後評価方法書

品野地区

平成 26 年 11 月

愛知県瀬戸市

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

目 次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	6
(2) 実施過程の評価.....	7
1) モニタリングの実施状況の確認.....	7
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	7
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	7
(3) 効果発現要因の整理.....	8
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	8
(5) 事後評価原案等の公表.....	8
(6) 評価委員会の審議.....	8
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	8
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	8

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

(1) 成果の評価

1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標 1 : 災害の不安がないと思う人の割合

A : 事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の 基準時点	市民意向調査実施時（平成21年6月）
②実施主体	行政経営部 経営課
③計測手法	品野地区の住民を対象とした、自治会での戸別配布、個別回収によるアンケート調査（配布数2,060世帯）を実施し、「災害の不安がない」の質問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合を従前値として設定した。

B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成26年11月				
⑤実施主体	行政経営部 経営課				
⑥データの 計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。				
⑦評価値の 求め方	品野地区の住民を対象とした、自治会での戸別配布、個別回収によるアンケート調査を実施し、従前と同一の設問、回答項目により計測する。 当指標に影響する事業は完了していることから、評価値（確定値）とする。				
⑧確定／見 込みの別	<table border="1"><tr><td>●</td><td>確定</td></tr><tr><td></td><td>見込み</td></tr></table>	●	確定		見込み
●	確定				
	見込み				

C : フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップ の必要性	<table border="1"><tr><td></td><td>あり</td></tr><tr><td>●</td><td>なし</td></tr></table>		あり	●	なし
	あり				
●	なし				
⑩計測時期					
⑪実施主体					
⑫計測手法					

指標 2 :	自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	市民意向調査実施時（平成21年6月）	
②実施主体	行政経営部 経営課	
③計測手法	品野地区の住民を対象とした、自治会での戸別配布、個別回収によるアンケート調査（配布数2,060世帯）を実施し、「自治会等の地域活動が盛んであると思う」の質問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合を従前値として設定した。	
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	平成26年11月	
⑤実施主体	行政経営部 経営課	
⑥データの計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。	
⑦評価値の求め方	品野地区の住民を対象とした、自治会での戸別配布、個別回収によるアンケート調査を実施し、従前と同一の設問、回答項目により計測する。 当指標に影響する事業は完了していることから、評価値（確定値）とする。	
⑧確定／見込みの別	●	確定
		見込み
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性		あり
	●	なし
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

指標 3 :	地区内観光施設への来訪者数	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の 基準時点	都市再生整備計画策定時（平成21年3月）	
②実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課	
③計測手法	平成21年度観光レクリエーション統計の対象施設のうち、品野地区内施設（岩屋堂鳥原溪谷、岩屋堂バンガロー村、岩屋堂プール、岩屋堂ライトアップ、品野陶磁器センター、品野陶磁器センター（陶芸教室））を対象とし、それら施設の年間利用者数を把握する。	
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	平成26年12月	
⑤実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課	
⑥データの 計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。	
⑦評価値の 求め方	平成26年度観光レクリエーション統計の対象施設のうち、品野地区内施設（岩屋堂鳥原溪谷、岩屋堂バンガロー村、岩屋堂プール、岩屋堂ライトアップ、品野陶磁器センター、品野陶磁器センター（陶芸教室）、道の駅しなの）を対象とし、それら施設の年間利用者数を計測する。 当指標に影響する事業は完了していることから、評価値（確定値）とする。	
⑧確定／見 込みの別	●	確定 見込み
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップ の必要性	●	あり なし
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

(1) 成果の評価

2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

数値指標1： 地域力向上事業における地域活動数

記述理由 公園の整備や品野台地域交流センターの整備が、地域活動の活性化及び地域力の向上につながったことを示す指標となるため。

A：事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の基準時点	都市再生整備計画策定時（平成21年3月）
②実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課
③計測手法	品野台地域力向上委員会の事業報告から、実施される地域活動数を把握し、評価値とする。

B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成26年12月				
⑤実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課				
⑥データの計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。				
⑦評価値の求め方	品野台地域力向上委員会の事業報告から、各年実施される地域活動数を把握し、評価値とする。				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"><tr><td></td><td>確定</td></tr><tr><td>●</td><td>見込み</td></tr></table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				

C：フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップの必要性	<table border="1"><tr><td>●</td><td>あり</td></tr><tr><td></td><td>なし</td></tr></table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	平成27年6月				
⑪実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課				
⑫計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。				

数値指標2： 自主防災リーダーの登録者数					
記述理由	品野台地域交流センターの整備が、防災に関する地域活動の活性化及び地域力の向上につながったことを示す指標となるため。				
A：事前評価時の『従前値』の求め方					
①従前値の基準時点	都市再生整備計画策定時（平成21年3月）				
②実施主体	防災課				
③計測手法	品野地域における自主防災リーダーの登録数を把握し、評価値とする。				
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方					
④計測時期	平成26年12月				
⑤実施主体	交流活力部 まるっとミュージアム課				
⑥データの計測手法	事前評価時の『従前値』の計測方法と同一とする。				
⑦評価値の求め方	品野地域における自主防災リーダーの登録数を把握し、評価値とする。				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"> <tr> <td>●</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見込み</td> </tr> </table>	●	確定		見込み
●	確定				
	見込み				
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方					
⑨フォローアップの必要性	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>なし</td> </tr> </table>		あり		なし
	あり				
	なし				
⑩計測時期					
⑪実施主体					
⑫計測手法					

(2) 実施過程の評価

1) モニタリングの実施状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C : 事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C : 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

対象地域内において、住民で構成する品野台地域力向上プラン委員会、下品野地域力向上協議会が立ち上げられ、主体的・持続的なまちづくりの基礎となる体制が構築された。

C : 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

(3) 効果発現要因の整理

①時 期	平成26年12月～平成27年1月
②実施主体	行政経営部 経営課 (都市再生整備計画事業主管課)
③検討体制	行政経営部経営課が主管課となり、事業に関わる全ての課 (維持管理課、建設課、まるとミュージアム課、地域活動支援室、産業課) などによる庁内の横断的な組織を設置し、検討会議を開催する。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

①時 期	平成26年12月～平成27年1月
②実施主体	行政経営部 経営課 (都市再生整備計画事業主管課)
③検討体制	前記の組織により、ブレインストーミングを行い、今後のまちづくり方策を作成する。

(5) 事後評価原案等の公表

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成27年1月 (予定)	平成27年3月 (予定)
②実施主体	行政経営部 経営課 (都市再生整備計画事業主管課)	行政経営部 経営課 (都市再生整備計画事業主管課)
③公表方法	市広報により概要を周知するほか、行政経営部経営課窓口での閲覧、市ホームページへの掲載により公表する。公表期間は約1カ月とする。	市広報により概要を周知するほか、行政経営部経営課窓口での閲覧、市ホームページへの掲載により公表する。公表期間は、フォローアップによる評価値確定後1年とする。

(6) 評価委員会の審議

①時 期	平成27年2月 (予定)
②実施主体	行政経営部 経営課 (都市再生整備計画事業主管課)
③設置・運用方法	学識者 (大学教員) と地域の有識者、本地区の住民代表により評価委員会を構成し、本地区の都市再生整備計画事業に限定した事業評価を行うよう、市の要綱により運用する。

(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定

①聴取方法	なし
-------	----

※ (3) ～ (6) の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況

①予算措置の状況	ア <input type="checkbox"/> 費用は発生しない イ <input checked="" type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ <input type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ <input type="checkbox"/> その他 ()
----------	---

